

特集 I ニューガラスフォーラム 20 周年記念

ご挨拶：経済産業省より

ニューガラスフォーラム 20 周年に寄せて

経済産業省製造産業局

次長 塚本 修



社団法人 ニューガラスフォーラムが創立 20 周年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。これも一重に石津会長はじめ歴代役員、関係者の皆様の並々ならぬご努力の賜ものと敬意を表する次第でございます。

社団法人 ニューガラスフォーラムは、ニューガラスに関する情報交換の場として設立され、ニューガラスを取り巻く技術課題の調査研究を中心として、産業に密着した課題に積極的に取り組まれ、ニューガラス関連産業発展のために活動されて参られました。

この 20 年を振り返りますと、設立当時、産業界では、石油危機以降の省資源・省エネルギーの重要性が高まり、素材産業に対して、より高付加価値の高機能、高性能材料が求められる、いわゆる新素材ブームにあって、ガラス産業においても既存の汎用ガラス製品からハイテク材料としてのガラス材料に対する期待が高まっておりました。それまでに光ファイバー、フォトクロミックガラス、フォトマスクガラスなどガラス材料の技術革新は着実に進展しておりましたが、ニューガラスというとらえ方はされておらず、当時、ガラス産業の中にガラスを新しい観点で見直そうとする動きが現れ、昭和 60 年 7 月に産学官の交流の場としてニューガラスフォーラムが設立されることになりました。

その後、ニューガラスフォーラムは、ニューガラスの産業・技術に関する調査研究やニューガラス大学院といった人材育成、ガラス材料の国際的なデータベースである INTERGLAD の構築・運用といった知的基盤整備などに取り組まれております。とりわけ、平成 13 年度からは、第二期科学技術基本計画の中でも、代表的なナノ材料のナショナルプロジェクトとして位置づけられているナノガラス技術プロジェクトを開始されました。ガラスメーカーと関連メーカー 11 社、2 研究機関、6 大学の参画を得て、現在もプロジェクトは進行中ではありますがすでに多くの成果を出されており、その成果の一部は、後発プロジェクトであるディスプレイ用高強度ナノガラスプロジェクト、デバイス用高機能化ナノガラスプロジェクトに引き継がれ、さらにステージアップした実用化研究に進展しております。

現在、ニューガラス関連産業は、フラットパネルディスプレイやモバイル製品等、我が国経済の牽引役であるデジタル家電分野に高品質材料を提供しておりますが、ニューガラスフォーラムには、この分野における技術革新に今後ともご尽力頂き、同産業の国際競争力を確固たるものにするため、産業界に密着したシンクタンクとして、又、研究開発プロジェクトの実施機関としての役割を十分に発揮されまして、我が国ガラス産業をリードして頂けるものと期待しているところです。

結びになりましたが、今後のニューガラスフォーラムの飛躍、並びに会員各社、関係者の皆さま方の益々のご発展、ご健勝を祈念いたしましてごあいさつとさせていただきます。